

# 東ティモールニュース

EAST TIMOR NEWS No.7

2002年2月21日

2002年1月には、所用があって日本に一時帰国していたため、ニュースを一回休みました。もしお待ち戴いた方がいらっしゃったとすれば、この場を使ってご免蒙ります。ちなみに、毛穴の開ききった小生には、日本は何と寒かったことか。ウガンダに居た頃、摂氏19度に気温が下がる所に訪れた時に、指先にチアノーゼが出ました。こんなことは信じて頂けないでしょうが、真実です。ことほどさように、人間の身体は、時間を掛ければ順応するというのでしょうか。さてしてみると、北海道という寒い所ですごしている方々が、東ティモールにやって来た場合すぐに仕事になるのでしょうか？カンボジアでは、大変だったそうですが・・・。

「NGO」とは、政府関連ではなく、であるが故に運動体としての側面を残している組織だと考えています。食するための最低限の貨幣や現物での収入は、必要ですが、その故に勤務時間や就業規則には、縛られてはいません。勿論、その時代特有の倫理には従います。ある政府(国・地域)とある政府(国・地域)との協力関係があったとしても、その関係の詳細は、なかなか援助政府市民には伝えられませんし、協力そのものが被援助政府の管轄に住む住民一人一人に必ず届くかどうか、定かでは有りません。そこにこそ、NGOの存在価値があります。小さい組織だからこそ、政府間援助の漏れた所で活動できるのです。又、だからこそ、政府に伝わりにくい情報を持てるのです。政府とNGOは、車の前輪と後輪とも言えます。上下関係ではなく、協調関係です。

日本での、アフガニスタン支援復興会議では、恥ずかしいニュースが世界を駆け回ってしまったようです。国会議員、特に衆議院議員は、「代」議士とも呼ばれるように、市民の代わりに意見を述べるのであって、市民の長ではありません。地元の利益ばかりではなく、同時に「生命」の喜びをも同時想像・創造しようではありませんか。ここで一句、「言ったとか 言わないとかは 犬も食わない 何とやら」。

1月半ば、日本の一つのNGOで働く女性が、バイク事故により意識不明の重体となっています。シンガポールで治療中ですが、二月に入り、日本に移送出来る位には様態が安定しているそうです。併し、意識は戻っていません。とある日、自己の意識が途切れてしまう。突然眠ってしまったようなものでしょうか。つい最近まで、その笑顔、その苦悩、その思慮を共有していました。今は、一方通行のようです。徳さん、もう一度表情豊かな貴女と対話したいのです。どうか、再び元気な姿でお会いできることを祈ります。

東ティモールの現場に帰り着いた次の日に、ある小学校に行きました。二部制ではあるのですが、保健教育の話聞くために、教員が全生徒を集めて待っていました。総勢600人程。圧倒されました。1950年生まれの私自身も小学校低学年までは、二部制でした。弁当を食べて終るか、弁当を食べて始まるかのどちらかでした。それ以外の時間は、野球、魚釣り、ザリガニ取り、一里離れた所にある曹洞宗本山総持寺の探索などにたっぷり使いました。更に私の場合、小学校4年時代に事故により一年間休学していました。それでも、現在までの生活に支障は、ありません。現在の小学校学習指導要領は、子供時代を縛りすぎると思いませんか。

エルメラ県レテフォホ郡ハトゥクエイ村に行きました。県都グレンノから1時間位で、レテフォホ郡都、そこからさらに1時間の村、標高1800m以上に位置し、訪問時には、霧に覆われていました。インドネシア語では、TIDAK PERNEH MATAHARI (太陽が未だ顔を見せない) 所。と言っていました。ついですが、この言葉の中の「マタハリ」とは、太陽を意味しますが、懐かしい言葉と思う年代の人も居るのではないのでしょうか。この村では、東ティモールでは珍しく、小麦を育てています。但し、精麦機が無いので皮付きで食べているそうです。チューインガムを噛んでいるようでおいし



↑霧に煙るハトゥクエイ村の小麦

くないけれど、食べる物に事欠くので、仕方ないと村人は、言っています。どなたか、機械を使わない小麦の精製について知っている方があれば、教えて下さい。

この村では、杏と桃、パイナップルも生産していました。感激しました。以前にタイ北部の、アカの人々の村を訪れた時に、その長老が言っていました。「桃が出来るところでは、パイナップルから林檎までいろいろな物が作れるのだ、そういうところを桃源郷と呼ぶんだ。」と。やる気を感じさせる村です。指導者も良いのでしょうか。がさることながら、辺鄙なところにある村ですから、村人皆が何とかしなければと強く思っていることでしょう。ここには、鍛冶小屋もありました。

前段の女性「徳さん」2月6日に簡単な対話が出来た程度には、意識が回復したそうです。良かった。7日には、日本に移送されました。家族の近くで医療が受けられます。更なる回復を祈ります。

ニノ・ペレイラさんという人に会いました。歌手であり、ティモール大学で経済学を教える教員でもあります。作詞作曲は、別の方ですが、彼の唄う歌に次のようなのがあります。

C	G	F	C	F	C	G	C	G7	CG	
O Rai Timor Furak Timor Loro Sae				Tasi O Nian Hau La Haluha				Hau Hadomi O		
ああ東ティモール、素敵な土地東ティモール				あなたの海を忘れない				私の愛するあなた		
C	F	C		G7						
Bainhira Hau Ba Dok Buka Matenek				Maibe Hau Sei La Haluha						
私がこれからいろんなことを学んでいく時も				東ティモールのことは決して忘れないし						
C				G7			C			
Mos Hau Sei Fila				Mai Hamutuk Fali Hare Ba Rai Timor						
まだ帰れないけれど				みんなで一緒に戻って眺めよう東ティモールの地を						
C	G	F	G	F	C	G	C	G7	C	G
O Rai Timor Furak Hau Nia Doben				O Hader Ona Keta Tanis Fali Keta Laran Susar						
ああ東ティモール、素敵な私の愛する国				あなたは目覚めたからもう泣くことも恐れることもない						
C	F	C		G7			C			
Hare Loron Matan Sae Sae Daudauk Ona				Lori Lia Fuan Foun Daudauk Ona						
見てごらん今太陽はまたのぼっている				届いてくれよ心からの新しい知らせが						
G7			C	G						
Ne'e Be Ita Hotu Haksolok Ba Rai Timor										
ここ私たちを幸せにする東ティモールの地に										
G7							C			
Mai Hamutuk Fali				Haksolok Ba Rai Timor						
みんなで一緒に戻ろうよ				幸せな土地東ティモールへ						
G7							C			
Mai Hamutuk Fali				Haksolok Ba Rai Timor						
みんなで一緒に戻ろうよ				幸せな土地東ティモールへ						

彼は、非常に透き通った、哀愁をおびた唄い方をしてくれました。素直に自分の国を「愛する」と言えるのはとても素敵なことです。日本にも滞在したことがあり、「東京・ディリ (Tokyo-Dili)」という自作の歌もあります。

訂正：第三号でタイ語のトッキーは、ここでは「テキ」と書きましたが、ここ東ティモールでも「トッキー」でした。ちなみに、インドネシア語でも「トッキー」です。お詫びして訂正致します。

縷紅荘主人  
高塚政生 記